

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-10-03

能楽研究所彙報（二〇二〇年四月～二〇二一年三月）

野上記念法政大学 能楽研究所

(出版者 / Publisher)

法政大学能楽研究所 / The Nogami Memorial Noh Theatre Research Institute of Hosei University

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

NOGAKU KENKYU : Journal of the Institute of Nogaku Studies / 能楽研究

(巻 / Volume)

46

(開始ページ / Start Page)

269

(終了ページ / End Page)

286

(発行年 / Year)

2022-03-25

能楽研究所彙報(二〇二〇年四月～二〇二一年三月)

〔紀要〕能楽研究』第四十五号の発行

二〇二一年三月二十五日付で、研究所紀要『能楽研究』第四十五号を発行した。A5版260頁。内容は次の通り。

〈逆様事の能〉の系譜―能《隅田川》への道程― 伊海 孝充
 歩行に始まり歩行に終わる―比較演劇的観点から見た日本の
 伝統演劇の特質― 宮本 圭造

仙台藩御乱舞方御用岩井理助と『真徳鏡』の増補をめぐって
 ―「獅山公御流儀」考(一)― 深澤 希望

驚流狂言『宝曆名女川本』―本書綴外物』翻刻

永井 猛、稲田 秀雄、伊海 孝充
 升形本『あい之本』の翻刻と解題 小田 幸子、井上 愛
 研究展望 二〇一七年(平成29年) 深澤 希望

表 きよし
 小室有利子
 中司由起子
 山中 玲子
 伊海 孝充
 横山 太郎

能界展望 二〇一八年(平成30年)

能楽研究所彙報 二〇一九年度(平成31/令和元年度) 高橋 悠介

竹内 晶子

〔第四十二回観世寿夫記念法政大学能楽賞〕

二〇二〇年十二月三日(木)に開かれた選考委員会(委員は、小田幸子・観世鏡之丞・竹本幹夫・児玉竜一・尾川浩一〔法政大学常務理事〕・増田正人〔法政大学常務理事〕・山中玲子・宮本圭造)が慎重に審議した結果、第四十二回観世寿夫記念法政大学能楽賞の受賞者は、「該当者なし」と決定され、十二月七日付で田中優子総長名義の通知を各方面に発送した。

〔第三十回催花賞〕

〔受賞者〕 一噌 庸二(いつそう ようじ)氏
 〔贈呈理由〕 若くして宗家を継承した氏は、半世紀以上にわたり堅実にその責を果たし、後継者を育てるとともに、「わざは大わざ、例えていえば一刀彫りの如し」という流是を守る家元らしい芸風で、長年多くの舞台を支えてきた。最近はその名状しがたい柔らかかみや興行きが加わり、囃子方の長

老としての存在感を示している。

〔主な経歴〕 一噌流笛方十四世宗家。一九四〇年十二月七日、十三世一噌鉢二の長男として東京に生まれる。一噌正之助、藤田大五郎に師事。一九五〇年十二月、十二世一噌又六郎追善囃子会での舞囃子〈春栄〉〈シテ観世元正〉が初舞台。以後、一九六一年の〈道成寺〉をはじめ、〈翁〉〈石橋〉〈清経音取〉〈狸々乱〉〈鷲〉〈望月〉〈檀垣〉〈姨捨〉〈関寺小町〉〈三輪誓納〉〈江口平調返〉〈朝長懺法〉〈弱法師雙調之舞〉等の大曲・秘曲を次々に披く。一九六七年九月、宗家を継承。一九八三年には主催する自主公演「第二回七星会」の企画と舞台成果により芸術祭優秀賞を受賞。東京芸術大学非常勤講師、国立能楽堂養成課主任講師等を勤め、後進の指導にも精力的に取り組む。重要無形文化財総合指定保持者。日本能楽会会員。後継者に長男の隆之氏がいる。

なお今年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、贈呈式を延期して次年度に合同で開催することとした。

〔研究・調査活動〕

共同利用・共同研究拠点としての活動

「能楽の国際・学際的研究拠点」では、「文献資料に基づく能楽の総合的・学際的研究」・「新たな視点による国際・学際的能楽研究」の二つの柱に基づき、拠点が中心となって国内の研究機関・研究者と連携する「拠点主導型共同研究」と、研究テーマを広く公募し学外の研究者が代表となる「公募型

共同研究」をおこなった。

公募型共同研究は、① 室町中後期能楽伝書の資料集作成と室町文化の継承史・社会史に関する学際的研究、② 能作品の仏教関係語句データベース作成と能の宗教的背景に関する研究、③ 新出・鶯流狂言『宝曆名女川本』の離れ(笹野本)についての基礎研究、④ 能の映像にそえる記譜の研究、⑤ 能楽におけるコミュニケーションな実践の構図の解明、⑥ ワキ型付「能之秘書」の解読と注釈を通じた固定期以前の能演出の研究、⑦ 間狂言資料集の作成とアイ語りを視点とする夢幻能の再検討、⑧ 能楽研究所蔵及び国立能楽堂蔵一噌流伝書の調査研究―演奏技法及び江戸期地方伝承の解明にむけて、⑨ 和歌・連歌との比較を通して謡曲修辞技法の学術的研究、⑩ 近世邦楽詞章における謡曲撰取用例データベースの作成の10件が、順調に活動を進めた。

● 研究集会「近世初期出版文化の中の謡本―光悦謡本を例に

2月21日(日)オンライン開催

「古活字版の底本と本文―嵯峨本とその周辺を事例に―」

小秋元段(法政大学)

「光悦謡本研究の問題点―分類・組版者・底本―」

伊海孝充(法政大学)

コメンテーター

竹本幹夫(早稲田大学)

●公募型共同研究の活動

* 「室町中後期能楽伝書の資料集作成と室町文化の継承史・社会史に関する学際的研究」(代表…重田みち)オンライン研究会及び調査を実施(計18回)。研究成果のとりまとめとして『宮増小鼓伝書の資料と研究―室町文化横断研究のために』を刊行。

* 「能作品の仏教関係語句データベース作成と能の宗教的背景に関する研究」(代表…高橋悠介)オンライン研究会(計8回)にて、注釈の検討および論集刊行に向けた編集作業を実施。データベースのコンテンツを完成させ(非公開)、検索機能等の実装作業を行った。

* 「新出・鷲流狂言『宝曆名女川本』の離れ(笹野本)についての基礎研究」(代表…永井猛)オンライン研究会及び調査撮影を実施(計3回)。翻刻作業を進め、『能楽研究』45号に「本書綴外物」の翻刻を掲載した。

* 「能の映像にそえる記譜の研究」(代表…藤田隆則)オンライン研究会及び能楽師へのインタビューを実施(計10回)。12月25日に一般公開(オンライン)の第32回能楽フォーラム「記譜を通じて能の面白さにせまる〈羽衣〉全曲の映像化をテーマにして」を開催(能楽学会共催)。

* 「能楽におけるコミュニティな実践の構図の解明」(代表…古賀広志)オンライン研究会及び打合せを実施(計8回)。能楽師のキャリア形成や茶道のオンライン稽古についてなどの発表、経営情報論の国際会議等で報告を行い、討議を重ねた。

* 「ワキ型付「能之秘書」の解説と注釈を通した固定期以前の能演出の研究」(代表…中司由起子)資料の難読箇所と注釈の問題点を抽出する作業を行い、メールにて回覧、意見交換を重ねた。それらをふまえ、オンライン研究会(計2回)を行い、校訂本文を完成させた。

* 「問狂言資料集の作成とアイ語りを視点とする夢幻能の再検討」(代表…西村聡)オンライン研究会を実施(計3回)。「和泉流問狂言伝書」「鷲流問狂言付」「遺形書」の問狂言資料や、〈安字〉〈敦盛〉をはじめとする個々の曲の間狂言についての報告を踏まえ、アイの「語り」に関する広範な議論を行った。拠点サイトに「鷲流問狂言付」・「鷲流狂言型附遺形書」の翻刻を公開し、『能楽研究』45号に『あい之本』の翻刻を掲載した。

* 「近世邦楽詞章における謡曲撰取用例データベースの作成」(代表…日置貴之)メール・オンライン等で研究会・調査・打ち合わせを実施(計3回)。「紀海音全集」文字譜索

引の作成などを行い、長唄データベースの増補を行った。

* 「能楽研究所蔵及び国立能楽堂蔵一噌流伝書書の調査研究―演奏技法及び江戸期地方伝承の解明にむけて」(代表…森田都紀) 島田家文書の資料調査を行い(計6回)、目録を作成。オンライン研究会にて一噌流伝書の翻刻と解読を進めるとともに、島田已久馬の経歴や一噌流伝書に関する研究報告を実施した(計3回)。

* 「和歌・連歌との比較を通じた謡曲修辭技法の学際的研究」(代表…浅井美峰(高砂)の和歌・連歌表現の用例を個別に調査し、オンライン研究会(計12回)にて検討、問題点を共有し、用例の抽出とリスト化をおこなった。

各共同研究の活動・成果の詳細は「能楽の国際・学際的研究拠点」のウェブサイトを参照されたい。

●他組織との連携による活動

* シンポジウム「曾我兄弟の伝承と能―歴史・物語・芸能―」

3月13日(土)オンライン開催、能楽学会共催

「曾我物の能―史実・文学との距離―坂井孝一(創価大学)

「『曾我物語』改作の指向―真名本・仮名本―」

小井土守敏(大妻女子大学)

「舞う身体としての曾我兄弟―幸若舞曲との比較から―」

伊海孝充(法政大学)

「『曾我物語』と曾我物の能」

竹本幹夫(早稲田大学)

全体討議…坂井孝一・小井土守敏・伊海孝充・竹本幹夫

表きよし(司会)

* 国立能楽堂特別展「勸進能」

(11月14日～翌年1月17日)国立能楽堂との協同事業

●刊行物とデジタルアーカイブ公開

* 能楽資料叢書6『近世諸藩能役者由緒書集成(中)』刊行
宮本圭造編。3月。中巻には福井藩から高知藩にいたる二十藩の能役者の記事を収める。

* 「能楽資料デジタルアーカイブ」の公開

10月9日『和泉流明和中根本』『大蔵虎清間・風流伝書』

『和泉流「間習只」』『升形本「あい之本」付能目録』『和泉流間狂言伝書』の狂言資料計五点を追加公開した。

* 「能楽資料デジタルアーカイブ」の拡充

前述のほか四五点のデジタル化を進め、コンテンツが完成した。今回は資料の掲出順を年代ごとと並び替える等のリニューアルも併せて行った。

「資料の受贈(二〇一八年度・二〇二〇年度)」

二〇一八年度には、諸藤寛人氏より島田已久馬氏旧蔵資料の寄贈を、飯富章宏氏より飯富家旧蔵能楽資料の寄贈を受け

た。御寄贈いただいた諸藤寛人氏、飯富章宏氏のご芳志に対し厚く御礼申し上げます。

また、二〇二〇年度には、村上小春氏より小倉藩能役者村上家関係資料一式(計四七点)の寄贈を受けた。御寄贈いただいた村上小春氏、御仲介をいただいた板家茂雄氏のご芳志に対し厚く御礼申し上げます。

(お詫び・前々号の彙報に「資料の受贈」の項目が漏れていましたため、本号にて二〇一八年度分を併せて掲載いたしました。貴重な資料をご寄贈いただきながら遺漏がありましたこと、お詫び申し上げます。)

〔資料の移管〕

法政大学国際日本学研究所より『謡唄謡詠』の移管を受けた。

〔所員の活動〕

山中 玲子

〔修羅能以前の『平家の能』―(経盛)の再検討を通して―〕

『無常の鐘声 平家物語』 花鳥社 20年7月

〔能の基礎知識〕新型コロナウィルス終息祈願能楽公演
2020『能楽ガイド』能楽協会ウェブサイトに 20年7月

〔観世文庫所蔵能楽資料解題目録〕(解題執筆)

檜書店 21年1月

〔研究展望(二〇一七年演出・技法研究)〕

〔その他〕

二子玉川ライズ薪能解説《石橋》《蚊相撲》 20年8月

宮本 圭造

〔〈蟻通〉が目指したもの〕

『観世』 20年9月

〔勧進能の歴史〕「勧進能年表」資料解説

『勧進能』 20年11月

〔勧進能と落首〕

『国立能楽堂』44号 20年12月

〔翁〕はどのようにして全国に根付いたのか

『翁の本』 20年12月

〔〈翁〉の天下泰平国土安穩〕

『鍊仙』 21年1月

〔観世文庫所蔵能楽資料解題目録〕(解題執筆)

檜書店

21年1月

〔近世諸藩能役者由緒書集成(中)〕(編)

21年3月

〔翻刻・校訂編〕(重田みち氏・高橋葉子氏と)「毛利博物館蔵

鼓伝書小考」

『宮増小鼓伝書の資料と研究』 21年3月

〔金春家文書の形成と流転〕「全体討議」「例会ノート」

『能と狂言』 18号 21年3月

〔歩行に始まり歩行に終わる―比較演劇的観点から見た日本の伝統演劇の特質―〕

『能楽研究』 45号 21年3月

〔解説等〕

〔能楽の歴史〕新型コロナウィルス終息祈願能楽公2020

『能楽ガイド』 能楽協会ウェブサイトに 20年7月

- 劇評「よゝすか芸術劇場「幻(GEN)」」朝日新聞 20年10月
 劇評「鶴澤久の会」朝日新聞 21年1月
- 「講演・研究発表等」
 「御部屋役者再考」六麓会(オンライン開催) 20年6月
 「特別展「勸進能」のみかた」国立能楽堂特別展開連講座
- 「翁 父尉延命冠者」(観世清和氏・松岡心平氏と) 国立能楽堂講義室 20年11月
 観世会能楽講座 観世能楽堂 20年11月
- 「能楽の新時代」国立能楽堂普及公演解説
 国立能楽堂 20年12月
- 「長浜八幡宮勸進猿楽記録の「源四郎」は宮王宗竹か」六麓会(オンライン開催) 20年12月
- 伊海 孝充**
 「謡本 和田酒盛」(共著) 檜書店 21年2月
 「《氷室》の季節」『鉄仙』702号 20年6月
 第二十二回明之會パンフレット 20年12月
 第八回湘南ひらつか能狂言パンフレット 21年2月
- 「逆様事の能」の系譜―能《隅田川》への道程―
 「能楽研究」45号 21年3月
- (共著)「鶯流狂言『宝暦名女川本』」
 「本書綴外物」翻刻」『能楽研究』45号 21年3月
- 「研究展望(二〇一七年狂言研究)」
 「能楽研究」45号 21年3月
- 「講演・研究発表等」
 第二十二回明之會 解説・アフタートーク 20年12月
 第八回湘南ひらつか能狂言 解説 21年2月
- 「光悦謡本研究の問題点―分類・組版／刊行年／刊行者・底本―」
 研究集会「近世初期出版文化の中の謡本」21年2月
 「舞う身体としての曾我兄弟―幸若舞曲との比較から―」
 二〇二〇年度能楽学会十九回大会シンポジウム「曾我兄弟
 の伝承と能―歴史・物語・芸能―」 21年3月
- 表 きよし**
 「研究展望(二〇一七年資料紹介・資料研究)」
 「能楽研究」45号 21年3月
- 「講演・研究発表等」
 オフィスしみかん講座「金春禪竹を読む(五音三曲集⑤)」
 朝日カルチャーセンター「世阿弥と花」 20年7月
 朝日カルチャーセンター新宿教室 20年9月
- 高橋 悠介**
 「観世文庫所蔵能楽資料解題目録」(共編) 檜書店 21年1月
- 「正楽寺蔵・荒神曼荼羅について―蔵王権現と習合した忿怒
 相の荒神像と諸尊」

『寺院文献資料学の新展開第5巻 中四国諸寺院Ⅰ』

臨川書店 20年4月

「千字文説草とその特色―亡息・亡息女供養の説草を中心に」

『仏教文学』45 20年4月

「身体生成をめぐる思想と中世仏教―五藏観・魂魄・胎内説」

『日本宗教史3 宗教の融合と分離・衝突』

吉川弘文館 20年7月

「貞慶をめぐる説話と律院―「異砂記」・狛行光春日靈験譚」

『説話文学研究』55 20年9月

「享保期の江戸城西丸への謡本献上と謡曲改訂(二)」

『斯道文庫論集』55 21年2月

「観世文庫の文献資料の形成と蔵書管理の一端」

『能と狂言』17 21年3月

「能界展望(二〇一八年)」

『能楽研究』45号 21年3月

「講演・研究発表等」

「六輪―露説と世阿弥能楽論」

能楽学大会二〇二〇年度世阿弥忌セミナー「世阿弥伝書を読む能役者―世阿弥伝書を受容・変容―」

オンライン開催 20年9月

「『三国伝記』の神祇関係説話小考」

国際日本文化研究センター共同研究「応永・永享期文化論」

公開シンポジウム「『三国伝記』の宗教的環境」

オンライン開催 20年9月

「密教聖教の略字表記と東密西院流」

第33回斯道文庫講演会「書誌学のこれまでとこれから」

YouTube配信のオンライン開催 20年11月

(鼎談)「観世文庫所蔵能楽資料解題目録」出版に向けて―

これまでの調査をふり返って」(松岡心平・横山太郎・高橋悠介)

『観世』87-4、檜書店、20年4月

(座談会)「実盛と時衆・さぶらふ人々」(高橋悠介、高桑いづみ、櫻井陽子、高橋秀樹)、第三回観ノ会「実盛」観ノ座

セルリアンタワー能楽堂 20年8月

(講座)「11月の狂言と能―あやかし/魔道/地獄―」

国立能楽堂公開講座 20年10月

〔解説文〕

〔事典項目執筆〕「能の思想」「真言立川流」

『日本思想史事典』丸善出版 20年4月

「『松風』の狂乱―形見と松」(能の魅力を知る 狂いと狂乱

―松風―)公演パンフレット

セルリアンタワー能楽堂 20年8月

「『望月』の芸尽し」セルリアンタワー能楽堂・渋谷能

2020年度第三夜「望月」公演パンフレット

セルリアンタワー能楽堂 20年9月

「夜討曾我」の形見送りと母衣起源説」渋谷能2020年度

第一夜「夜討曾我」公演パンフレット 20年10月

「内外詣」と江戸前期の伊勢信仰」渋谷能2020年度

第二夜「内外詣」公演パンフレット 21年3月

横山 太郎

『観世文庫所蔵能楽資料解題目録』（共編）

檜書店 21年1月

〔解説等〕

トークセッション「観客席と最新技術―変わりつつある能楽堂の鑑賞環境をめぐる―」（学芸会報告）

『能と狂言』 17号 20年12月

岡本章編著『現代能楽集』の冒険―錬肉工房1971―

2017（書評）

『能と狂言』 17号 20年12月

トークセッション「お稽古の現在」（学会報告）

『能と狂言』 18号 21年3月

能楽学会例会ノート「橋の会」前夜―能と現代芸術・現代

思想」（学会報告）

『能と狂言』 18号 21年3月

〔研究展望（二〇一七年その他）〕

『能楽研究』 45号 21年3月

〔講演・研究発表・対談等〕

鼎談『観世文庫所蔵能楽資料解題目録』出版に向けて―これまでの調査をふり返って（松岡心平、横山太郎、高橋悠介）

『観世』 87巻4号 20年4月

地名の秘密、反復の罪科（阿漕） 国立能楽堂10月普及公演

『一九七八・阿漕』解説 20年10月

全体討議司会（二〇一九年度能楽学会大会企画「家元のアー

カイブ）

『能と狂言』 18号 21年3月

中司 由起子

『観世元章相伝作物図2舎利 舍利塔』

『観世』 87巻5号 20年5月

『観世文庫所蔵能楽資料解題目録』（解題執筆）

檜書店 21年1月

〔研究展望（二〇一七年作品研究）〕

『能楽研究』 45号 21年3月

〔解説等〕

『国立能楽堂公演番組』

『国立能楽堂』 20年4月～21年3月

『能サポ』多言語字幕システム監修

檜書店 20年4月～21年3月

『狂言の基礎知識』新型コロナウィルス終息祈願能楽公演

2020『能楽ガイド』 能楽協会ウェブサイト 20年7月

深澤 希望

『仙台藩御乱舞方御用岩井理助と『真徳鏡』の増補をめぐる

て―『獅山公御流儀』考（一）―』

『能楽研究』 45号 21年3月

〔研究展望（二〇一七年単行本）〕

『能楽研究』 45号 21年3月

『観世文庫所蔵能楽資料解題目録』（解題執筆）

檜書店 21年1月

〔明窓浄机―学界通信―〕『金春月報』

20年5・8・11月、21年2月

〔共著〕『葛巻昌興日記』所引能楽記事稿(貞享四年七月〜十二月分) 『演劇研究』第44号 21年3月

〔解説等〕

〔能の面〕「能の装束」新型コロナウィルス終息祈願能楽公演 2020『能楽ガイド』能楽協会ウェブサイト 20年7月

小室 有利子

『観世文庫所蔵能楽資料解題目録』(解題執筆)

檜書店 21年1月

〔研究展望(二〇一七年能楽史研究)〕

『能楽研究』45号 21年3月

〔蔵書の出品・掲載〕

①BS-TBS「にっぽん!歴史鑑定」巻23「室町殿と観阿弥・世阿弥」に『四座役者目録』の画像使用を許可した(二〇二〇年四月二十日放送)。

②樹下文隆氏論文「絵表紙謡本の魅力―堀池宗叱識謡本を中心に―」(『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』14号、二〇二〇年六月刊行)に『伝観世小次郎信光筆謡本』「井筒」「芭蕉」「野宮」「殺生石」「千手」「小督」,「永禄元龜天正 元盛・宗節章句本」「芭蕉」「野宮」「卒都婆小町」「景清」の図版掲載を許可した。

③アヌシー国際アニメーション映画祭「アニメーション映画

『犬王』アヌシー国際映画祭Work in Progress用メイキング映像」(配信期間:二〇二〇年六月十五日〜六月三十日)に『能楽断片・名家の面影』『羽衣』『安宅』映像、『弘化勸進能絵巻』『鏡之間』『舞台飾り』『役者部屋』『能舞台』画像計6点の使用を許可した。

④HOSEIミュージアム開館に伴う展示品として『夏目漱石デスマスク』の資料借用を許可した(貸出期間:二〇二〇年六月十八日〜七月三十一日)。

⑤NHK-BSPレミアム「偉人たちの健康診断 宇喜多秀家回」(再放送)に『能之留帳』画像9点の使用を許可した(再放送日:二〇二〇年九月二十四日)。

⑥彦根城博物館企画展「彦根藩井伊家と能楽」(会期:二〇二〇年九月十八日〜十月十九日)パネル展示に『太郎次郎』「水谷本」「汲巴亭本」の画像使用を許可した。

⑦NHK-BSPレミアム「ザ・プレミアム 風神雷神図を描いた男 天才絵師・俵屋宗達の正体」(再放送)に「光悦謡本」画像の使用を許可した(再放送日:二〇二〇年八月三十一日)。

⑧相愛大学「伝統芸能コーディネーター育成プログラム」オンライン配信コンテンツ(配信期間:二〇二〇年九月三日〜九月十日)に『町人能図』の画像表示を許可した。

⑨天野文雄氏「世阿弥再見―世阿弥の『砧』続々考」(『舞台芸術』23号、二〇二一年二月発行)に『聞書色々』『元広』「砧」型付」の画像使用を許可した。

- ⑩国立能楽堂特別展「勸進能」(会期二〇二〇年十一月十四日～二〇二一年一月十七日)に『世子六十以後申楽談儀』他26点の資料借用を許可した。
- ⑪原瑠璃彦氏「翁の本 The Book of Okina」(二〇二〇年十二月刊行)に『明宿集』温故東の花第三篇旧幕府御大札之節町人御能拜見之図』の画像掲載を許可した。
- ⑫川崎商工会議所「かいぎしよ」(二〇二〇年十二月刊行)に『舞台之図』計2点の掲載を許可した。
- ⑬NHK中高生向け教育番組「Omni.ボックス国語／古文・漢文」 「狂言」のホームページでの動画配信に『天正狂言本』の画像使用を許可した(配信期間：二〇二一年二月～二〇二六年三月末日)。
- ⑭奈良大学通信教育部「サブテキスト2021」(奈良大学文学部 三宅晶子著、二〇二一年四月刊行)に『二曲三休人形図』 「軍体」の画像掲載を許可した。
- ⑮高桑いづみ氏「タイ所在日本製漆工品に関する調査研究報告書」(独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所)に『宮増弥左衛門親賢像』の掲載を許可した(二〇二一年三月刊行、英語版は二〇二二年三月刊行予定)。
- ⑯小林健二氏「福王雪岑の画業とその研究課題」(『藝能史研究』232号、二〇二一年一月刊行)に『能楽図絵』 「金札」 「道成寺」の画像使用を許可した。
- ⑰NHK教育テレビ「にっぽんの芸能」に『小野篁』 「舞芸六輪之次第」 『二曲三休人形図』 「碎動風鬼」 「力動風鬼」 『小野篁』の画像使用を許可した(放送日：二〇二一年三月十二日ほか)。
- ⑱金沢能楽美術館「文京区かなざわ講座」説明資料に『能之留帳』の画像使用を許可した(講座配信期間：二〇二一年一月末日～三月末日)。
- ⑲檜書店Webサイト記事「檜書店note」 (https://note.com/hinoki_noh)記事に『二曲三休人形図』 「碎動風」 「力動風」の掲載を許可した(二〇二一年二月二十六日より掲載開始)。
- ⑳HOSEIミュージアム開設記念特別展示「都市と大学」法政大学から東京を視る」(会期：三月八日～四月二十三日)に野上豊一郎色紙「葛城」 「大同無少長」の揮毫入り扇子・夏目漱石デスマスク・「能百句」原稿の資料借用を許可した。また、展示図録に画像の使用を許可した。
- ㉑国立能楽堂の令和3年度国立能楽堂特別展に『光悦謡本(特製本)』 「江口」他13点の資料借用を許可した(会期：二〇二二年四月七日～六月二十七日 ※緊急事態宣言発出による一部中断あり)。
- ㉒能楽研究所文部科学省共同利用・共同研究拠点における拠点公募型研究グループ(代表・重田みち氏)報告書「宮増小鼓伝書の資料と研究―室町文化横断研究のために―」(二〇二二年三月刊行)に『風鼓尊若伝書』 「宮増弥左衛門親賢画像」の掲載を許可した。
- ㉓天野文雄氏「申楽談儀」の稲荷靈験譚にみる世阿弥の環境―三社託宣、観世稲荷、土倉をめぐる―」(『朱』64号、

伏見稲荷大社、二〇二二年三月)に『元禄六年観世織部重記稲荷五社奉祀書付』の掲載を許可した。

〔雑報〕

◇客員所員の委嘱

能楽研究所において、規程に基づき各氏に客員所員を委嘱した。

豊島 正之(上智大学教授)

ポール・アトキンス(ワシントン大学シアトル校アジア言語文学科教授)

語文学科教授)

トーマス・ヘヤ (プリンストン大学教授)

アイケ・グロスマン(ハンブルク大学プロジェクト研究員)

以上、任期二〇二〇年四月一日〜二〇二二年三月三十一日。

◇客員研究員の委嘱

能楽研究所において、規程に基づき各氏に客員研究員を委嘱した。

森 幹彦 (目白大学准教授)

宮崎 眞帆(コロンビア大学博士後期課程)

以上、任期二〇二〇年四月一日〜二〇二二年三月三十一日。

中野 遥 (ソニー学園湘北短期大学)

以上、任期二〇二〇年十一月四日〜二〇二二年三月三十一日。

共同利用・共同研究拠点(能楽の国際・学際的研究拠点)公募型共同研究課題採択者および研究分担者に対して、規程に基づき客員研究員を委嘱した。

重田 みち(京都芸術大学非常勤講師)

井上 治(京都芸術大学准教授)

高橋 葉子(京都市立芸術大学客員研究員)

稲垣 弘明(京都芸術大学非常勤講師)

大東 敬明(國學院大学准教授)

西谷 功 (宗教学人泉涌寺宝物館「心照殿」学芸員)

芳澤 元 (明星大学助教)

永井 猛 (米子工業高等専門学校名誉教授)

稲田 秀雄(山口県立大学教授)

藤田 隆則(京都市立芸術大学教授)

河村 晴久(シテ方観世流・同志社大学嘱託講師)

永原 順子(大阪大学専任講師)

中嶋 謙昌(灘高等学校教諭)

玉村 恭 (上越教育大学准教授)

有松 遼一(ワキ方高安流・同志社女子大学非常勤講師)

古賀 広志(関西大学教授)

西尾 久美子(京都女子大学教授)

柳原 佐智子(富山大学教授)

岩崎 雅彦(國學院大学非常勤講師)

小田 幸子(日本大学非常勤講師)

大日方 寛(ワキ方下掛宝生流能楽師)

西村 聡（公立小松大学教授）

森田 都紀（京都芸術大学准教授）

高桑 いづみ（東京文化財研究所特任研究員）

以上、任期二〇二〇年四月一日～二〇二一年三月三十一日。

浅井 美峰（明星大学非常勤講師）

川上 一（慶應義塾大学大学院博士課程・日本学術振興

会特別研究員）

中野 顕正（日本女子大学学術研究員）

日置 貴之（明治大学准教授）

田草川みずき（千葉大学准教授）

古川 諒太（東京大学大学院修士課程）

以上、任期二〇二〇年七月八日～二〇二一年三月三十一日。

◇研究補助員（共同利用・共同研究拠点関係）の採用

二〇二〇年四月一日付で共同利用・共同研究拠点の研究活動の遂行にあたるための研究補助者として能楽研究所兼任所員の中西由起子氏を、またリサーチ・アシスタントとして人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程在籍の富山隆広氏を引き続き採用した。

◇事務嘱託職員の退職

菅沼寿恵氏が二〇二〇年九月三十日付で退職した。

◇事務嘱託職員の採用

二〇二〇年十月一日付で能楽研究所および共同利用・共同研究拠点担当の事務嘱託として、堂園真子氏を採用した。

◇臨時職員の採用

二〇一九年度に引き続き、二〇二〇年四月一日付で深澤希望氏を採用した。

◇臨時職員（夜間閲覧業務）の採用

二〇一九年度に引き続き、二〇二〇年四月一日付で富山隆広氏を採用した。

〔二〇二〇年度の所員名と関連委員名〕

◎所員

所長・専任所員 教授

専任所員 教授

兼任所員 文学部教授

兼任所員 文学部准教授

兼任所員 国際文化学部教授

兼任所員 国際文化学部教授

兼任所員 情報科学部教授

兼任所員 国士館大学教授

兼任所員 慶應義塾大学斯道文庫准教授

兼任所員 立教大学教授

兼任所員

兼任所員

兼任所員

兼任所員

事務

事務

山中 玲子
宮本 圭造
伊海 孝充
林 容市
鈴木 靖
竹内 晶子
伊藤 克亘
表 きよし
高橋 悠介
横山 太郎
中西由起子
深澤 希望
小室有利子
加藤 愛
菅沼 寿恵
堂園 真子

事務

◎運営委員

議長 所長

委員 専任所員

委員 文学部教授

委員 経営学部教授

委員 デザイン工学部教授

委員 デザイン工学部教授

委員 兼担所員

委員 兼担所員

委員 兼担所員

深澤 希望

委員 法人本部担当常務理事
委員 能楽研究所所長
委員 能楽研究所専任所員

増田 正人
山中 玲子
宮本 圭造

◎法政大学能楽賞選考委員

委員長 学術支援本部担当常務理事

委員 法人本部担当常務理事

委員 早稲田大学教授

委員 能楽研究者

委員 観世流シテ方能楽師

委員 能楽研究所所長

委員 能楽研究所専任所員

尾川 浩一
増田 正人
児玉 竜一
小田 幸子
観世鏡之丞
山中 玲子
宮本 圭造

◎法政大学能楽振興基金委員

委員長 学術支援本部担当常務理事

委員 法人本部担当常務理事

委員 写真家

委員 能楽研究所所長

委員 能楽研究所専任所員

委員 法政大学名誉教授

委員 能楽研究者

◎共同利用・共同研究拠点運営委員

委員 学術支援本部担当常務理事

委員 能楽研究所所長

委員 能楽研究所専任所員

委員 経営学部教授

委員 国立研究開発法人理化学研究所チームリーダー

委員 成城大学教授

委員 観世流シテ方能楽師

委員 元ユネスコ日本政府代表部大使

委員 早稲田大学名誉教授

尾川 浩一

尾川 浩一
山中 玲子
宮本 圭造
坂上 学
入来 篤史
大谷 節子
観世 喜正
佐藤 禎一
竹本 幹夫

◎法政大学能楽賞委員

委員長 学術支援本部担当常務理事

委員 上智大学文学部教授 豊島 正之

University of Hawaii Press * 山中玲子

◎共同利用・共同研究拠点公募型共同研究課題専門委員

委員 能楽研究所所長 山中 玲子
 委員 能楽研究所専任所員 宮本 圭造
 委員 国際文化学部教授 竹内 晶子
 委員 山口県立大学教授 稲田 秀雄
 委員 観世流シテ方能楽師 観世 喜正
 委員 国文学研究資料館名誉教授 小林 健二
 委員 東京文化財研究所特任研究員 高桑 いづみ
 委員 公立小松大学教授 西村 聡

〔受贈図書〕

☆単行本〔受人順。*印は寄贈者。書名・著者・発行年・発行者の順。著者および編者が発行している場合は、発行者は省略。〕

『新作浄るりめをと山賊 ―食満南北遺稿集―』
 *神戸女子大学古典芸能研究センター編 20年 和泉書院
 〔戯曲集〕紛争地域から生まれた演劇11
 *国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター編 20年
 『対訳でたのしむ 弱法師』三宅晶子著 20年 *檜書店
 『A KAMIGATA ANTHOLOGY』
 Sumie Jones, Adann L. Kern, Kenji Watanabe著 20年

芸術を知る』

*国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター編 20年
 『時空を翔ける中将姫 説話の近世的変容』
 日沖敦子著 20年 平凡社 *国文学研究資料館
 『無門関』の出世双六』
 20年 平凡社 *国文学研究資料館
 『大原社会問題研究所100年史』
 *法政大学大原社会問題研究所編 法政大学出版局 20年
 『日本古典文化の形成と受容』東西学術研究叢書第9号
 長谷部剛著 関西大学東西学術研究所 *関屋俊彦
 『令和2年度国立能楽堂企画展 日本人と自然 能楽と日本美術』
 *国立能楽堂事業推進課調査資料係編 20年
 独立行政法人日本芸術振興会
 『Noh & Kyogen A Photo Collection』花もよ叢書014
 森田拾史郎写真、リチャード・エマート文 20年
 ぶんがく社 *花もよ編集室
 『幕末維新と自由民権運動』 江島香著 *柳川市 20年
 『京都の能楽愛好家』 *高橋葉子・藤田隆則編 20年
 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
 『股倉からみる『ハムレット』』 芦津かおり著 20年
 京都大学学術出版会 *宗片邦義
 『実践女子大学所蔵貴重書図録』

実践女子大学・実践女子大学短期大学部編 20年

実践女子大学・実践女子大学短期大学部

* 実践女子大学文芸資料研究所

『中世文華論集 第五卷 中世文華とその資料(上)』

伊藤正義著 20年 * 和泉書院

『五世茂山千作記念誌』

十四世茂山千五郎監修
* 五世茂山千作記念誌刊行会編 20年

『リオ・デ・ジャネイロ国立図書館蔵 日葡辞書』

エリザ・タシロ、白井純編 20年 八木書店 * 中野遙

『NHK趣味講座 仕舞入門』

日本放送協会編 89年 日本放送出版協会 * 山中玲子

『NHK趣味百科 仕舞入門II』

日本放送協会編 90年 日本放送出版協会 * 山中玲子

『対訳でたのしむ 卒都婆小町』

竹本幹夫著 20年 * 檜書店

『令和2年度国立能楽堂特別展 勸進能』

* 国立能楽堂事業推進課調査資料係編 20年

独立行政法人日本芸術振興会

『能楽囃子太鼓方観世流に見る伝授と受容の諸相』『入門者』

摘録(全二冊)研究 第一卷(翻刻編)

三浦裕子著 20年 * 武蔵野大学能楽資料センター

『能・狂言の音声ガイド・字幕に関する研究序説』

* 武蔵野大学能楽資料センター編 20年

『翁の本 The Book of Okina』

* 翁プロジェクト実行委員会編 20年 凸版印刷株式会社

『柳川古文書館史料目録 第29集 大林(恒夫)家文書・(増補)吉弘(重代)家文書目録』

20年 * 柳川古文書館

『明治期戦争劇集成』

* 日置貫之編 20年

『INNE NO 新作能』* JADWIGA RODOWICZ-CZECHOWSKA

20年 Muzeum Sztuki i Techniki Japonskiej Manggha

『アワビと古代国家』

清武雄二著 21年 平凡社 * 国文学研究資料館

『春日懐紙の書誌学』

田中大土著 21年 平凡社 * 国文学研究資料館

☆ 雑誌・紀要など(特記した以外は発行所からの寄贈誌名・

号数・発行年・発行所の順)

(雑誌など)

葵 徳川美術館だより No.114~118(20・21年) 徳川美術館

岩瀬文庫だより No.65~67(20・21年) 西尾市岩瀬文庫

大阪春秋 No.180(20年) 新風書房 * 関屋俊彦

おもて 144~145号(20・21年) 大槻能楽堂

観世 87巻5号~88巻2号(20・21年) 檜書店

観世九阜会定例会 4月~4月(20・21年) 観世九阜会

喜多流自主公演能 5月~5月(20・21年) 喜多流職分会

喜多流青年能 第47・48回(20年) 喜多流職分会

橘香 65巻1~6号(20年) 梅若研能会

汲古 77号(20年) 汲古書院

- 九阜 復刊46・47号(20・21年) 観世九阜会
 藝能 26号(20年) 藝能学会
- KENSYO vol.116・118(20年) セクターエイティエイト
 国際日本文学研究集会会議録 第43回(21年)
- 国文学研究資料館 国文学研究資料館
 国立能楽堂 440〜448号(20・21年) 日本芸術文化振興会
 五島美術館研究紀要 8号(20年) 五島美術館
 金春月報 41巻4号〜42巻3号(20・21年) 金春月報編集部
 サントリー美術館ニユース279〜282号(20・21年) サントリー美術館
- THEATRE ARTS 2020春(20年)
 ACT(国際演劇評論家協会)日本センター
 紫明 45・46号(20年) 紫明の会
 序破急 23号(20年) 大阪能楽養成会後援会
 調査研究報告 40号(20年) 国文学研究資料館
 鏡仙 702〜710号(20・21年) 鏡仙会
- 伝統芸能の現在と未来 (18年) 日本伝統文化振興財団
 伝統と文化 No.42・43(19・20年) ポーラ伝統文化振興財団
 東海能楽研究会年報 24号(20年) 東海能楽研究会
 東京文化財研究所概要 2020(20年) 東京文化財研究所
 徳川記念財団会報 vol.35・36(20年) 徳川記念財団
 ないじえる芸術共創ラボ展「時の束を披く―古典籍からうま
 れるアートと翻訳―」(21年) 国文学研究資料館
- 名古屋芸能文化 30号(21年) 名古屋芸能文化会
 日本研究 60・61集(20・21年) 国際日本文化研究センター
 日本文学研究ジャーナル 16・17号(21年) 古典ライブラリー
- 能 744〜755号(20・21年) 京都観世会
 能楽タイムズ 817〜829号(20・21年) 能楽書林
 能楽連盟報 110・111号(20・21年) 新潟県能楽連盟
 能と狂言 17・18号(20・21年) 能楽学会
 橋がかり 4月〜3月(20・21年) 横浜能楽堂
 廣田鑑賞会能 第31回(20年) 廣田鑑賞会
 復活の大名 立花宗茂(20年) 柳川古文書館
 ふみ 14・15号(20・21年) 国文学研究資料館
 宝生 64〜69号(20・21年) 宝生会
 宝生LIFE 夏・秋・冬・春号(20・21年) 宝生会
- 柳川古文書館史料目録 29集(21年) 柳川古文書館
 柳川古文書館年報 令和元年度(21年) 柳川古文書館
 歴史書通信 249〜254号(20・21年) 歴史書懇話会
- 〈大学紀要〉
 愛知淑徳大学国語国文 44号(21年) 愛知淑徳大学国語国文学会
 青山語文 50号(20年) 青山学院大学日本文学会
 語文 114・115輯(20年) 大阪大学国語国文学会
 待兼山論叢 53・54号(19・20年)

演劇学論叢 20号(21年) 大阪大学大学院文学研究科

言語文化化学研究 大阪大学大学院文学研究科演劇学研究室
日本語日本文学編 15号(20年)

文藝論叢 93・94・95号(19・20年) 大阪府立大学人間社会学部言語文化化学科
岡大日文論稿 48号(20年) 大谷大学文芸学会

国語国文学会誌 64号(21年) 岡山大学言語国語国文学会
国語国文 45号(20年) 学習院大学国語国文学会

国文学 104号(20年) 金沢大学国語国文学会
関西学院大学博物館 公開研究会報告 第2号(18年) 関西大学国文学会

日本伝統音楽研究 11・13・14号(14・16・17年) 関西学院大学博物館
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター *高橋葉子

斯道文庫論集 55輯(21年) 慶應義塾大学付属研究所斯道文庫
古典芸能研究センター紀要 14号(20年) 神戸女子大学古典芸能研究センター

日本文学論究 80冊(21年) 神戶女子大学古典芸能研究センター
国学院大学博物館学紀要 45輯(21年) 國學院大學国文学会

実践国文学 98・99号(20・21年) 國學院大學博物館学研究室
人文学報 516・11号(20年) 実践国文学会

国文学科紀要 38号(21年) 首都大学東京人文学研究科
上智大学国文学科

国文学論集 54号(21年) 上智大学国文学会
学苑 963号(21年) 昭和女子大学

成蹊國文 53号(19年) 成蹊大学文学部日本文学科
中央大学国文 64号(21年) 中央大学国文学会

山邊道 61号(21年) 天理大学国語国文学会
同志社國文学 92・93号(20年) 同志社大学国文学会

佛教文化研究所紀要 39号(20年) 同朋大学佛教文化研究所
文学論藻 95号(21年) 東洋大学文学部日本文学文化学科

比較文化研究所年報 36号(20年)
文学論叢 37号(20年) 徳島文理大学比較文化研究所年報編集委員会
HERTEX Vol.3(20年) 徳島文理大学文学論叢編集委員会

二松 34集(20年) 文化遺産テクスト学研究センター
東アジア学術総合研究所集刊 50集(20年) 二松学舎大学大学院文学研究科

二松学舎大学論集 63号(20年) 二松学舎大学文学部
日本建築学会計画系論文集 vol.85(20年)

国文目白 60号(20年) 日本建築学会 *丸山奈巳
文教大学国文 49号(20年) 日本女子大学国語国文学会

国語国文学 61号(19年) 文教大学国文学会
沖繩文化研究 47号(20年) 別府大学

法政大学イオンビーム工学研究所報告 40号(21年)
法政大学イオンビーム工学研究所

法政大学イオンビーム工学研究所報告 別冊39号(21年)

法政大学イオンビーム工学研究所
国際日本学(研究成果報告集)18号(21年)

法政大学国際日本学研究所

法政史学 94・95号(20・21年) 法政大学史学会

大学院紀要 85・86号(20・21年) 法政大学大学院

文学部紀要 80・82号(20・21年) 法政大学文学部

HOSEIミュージアム紀要 創刊号(21年)HOSEIミュージアム

国語国文研究 155・156号(20・21年)北海道大学国語国文学会

日本文学ノート 55号(20年) 宮城学院女子大学日本文学会

能楽資料センター紀要 No.31(20年)

武蔵野大学能楽資料センター

武庫川国文 88号(20年)

武庫川女子大学国文学会 *関屋俊彦

日本文学 124・125号(20・21年) 立教大学日本文学会

國文學論叢 66輯(21年) 龍谷大學國文學會

演劇研究 43号(20年) 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

enpaku book vol.116 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

NEWS LETTER vol.10

早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点

国文学研究 190・191・192号(20年) 早稲田大学国文学会